

の積立金を計上

9月 定例会

**平成29年度一般会計
補正予算(第2号)**
2億3,505万円増額し
総額114億8,618万円
 (賛成多数で可決) (万円未満四捨五入)

平成29年9月定例会は、4日から20日までの17日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は、人事案4件、和解案1件、条例案1件、予算案4件、決算認定案5件、報告1件で、原案をすべて可決しました。

議員発議1件については、慎重審議を行った結果、否決となりました。

一般質問では、6議員が7項目について活発な論戦を展開し、町政を質しました。

基金への積立金

3億1,309万円

財政調整基金

2億4,100万円

農業振興事業費財政基金

1,209万円

庁舎建設等基金

5,000万円

町制施行100周年記念事業基金

1,000万円

電算システム改修 業務委託料

1,387万円増額

法改正等に伴い、宇美町、志免町及び須恵町にて利用している自治体クラウドサービスにおける基幹業務システムを改修する。

【改修内容】

(補助金事業)

年金システム改修業務委託・住民基本台帳システム改修業務委託(マイナンバーカード等旧姓併記)・番号制度データ標準レイアウト改版に伴うシステム改修業務委託・障害者自立支援給付支払等システム改修業務委託(町単独事業)

健康管理システム改修業務委託・選挙システム改修業務委託

再配置計画策定 業務委託料

332万円

平成28年度に策定した宇美町公共施設等総合管理計画の基本方針を達成するため、個々の施設の廃止、統合、更新などの方向性を定める。

実施期間は、平成29年10月から31年3月。

保育所等改修費等 支援事業費補助金

1,303万円

国の補助事業を活用して(仮)すみれ乳幼児園を新設する事業者に対し、補助基準に基づき、賃貸物件の改修費の補助を行う。



(仮) すみれ乳幼児園予定地

防災ハンドブック 印刷製本費

446万円

町民が災害発生時に「自分の身は自分で守る」ことができるよう、「災害時に対する備え」、「災害時の行動や情報収集の仕方」などを掲載したハンドブックを作成する。

住民福祉センター 整備工事請負費

35万円増額

住民福祉センター多目的トイレの自動ドアから異音が生じているため、モーターやセンサー等の取替工事を行う。

開館10周年記念事業

20万円増額

10月28・29日に開催する宇美町立図書館開館10周年記念イベントの図書館読書まつりの内容を充実させるために、宇美町出身の作家山口幸三郎氏の講演会を実施する。

歴史民俗資料館整備 工事請負費

32万円

歴史民俗資料館入口自動ドアから異音が生じているため、モーターやセンサー等の取替工事を行う。

財政調整基金等 約3億円

条例

宇美町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止

証明書自動交付機の廃止に伴い、宇美町住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止。

附則にて宇美町印鑑条例及び宇美町手数料条例の一部を改正し、経過措置を規定。

(賛成11・反対1で可決)

自動交付機の廃止に伴う対応は。

平日窓口及び夜間窓口の利用状況等を踏まえ、日曜日の交付窓口の設置について検討を行う。

※夜間窓口

毎月25日(土・日・祝日の場合は翌開庁日)午後5時15分～午後8時

コンビニでの交付の導入はどうか。

マイナンバーカードの交付状況等を見据え、今後、検討を進める。

議員発議

被災者生活再建支援法の改正を求める意見書

提出者 鳴海 圭矢 議員

時任 裕史 議員

全額国庫負担による被災者生活再建支援制度に係る特例基金を創設することなどを求める。

(賛成4・反対8で否決)

人事案の同意・承認

宇美町固定資産評価審査委員会委員

安河内 毅 氏(再任)

宇美町教育委員会委員

川上 利香 氏(再任)

人権擁護委員候補者

小林 文弘 氏(再任)

宇美町自治功労表彰候補者

平原 由紀子 氏

選挙(議長推薦)

糟屋郡篠栗町外一市五町

財産組合議会議員

鳴海 圭矢 議員

■平成29年度補正予算

(万円未満四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算	表決結果
一般会計	2億3,505万円	114億8,618万円	賛成 11 反対 1
国民健康保険	▲3億1,142万円	49億9,061万円	全員賛成
上水道事業	収益的支出 1万円	6億9,566万円	全員賛成
下水道事業	収益的収入 768万円	8億9,192万円	全員賛成
	収益的支出 ▲777万円	8億7,803万円	
	資本的収入 707万円	6億7,906万円	